

競技・審判上の注意事項

1. この大会は、(公財)日本バドミントン協会競技規則・同大会運営規程・同公認審判員規程によって行います。
2. インターバル中のアドバイスは、両サイドともコートには同時に2名までが入ることが可能です。
3. マッチ中の水分補給、汗ふきなどは、必ず主審の許可を得てください。
4. タオル、ラケット、水分補給用のボトル等は直接床に置かず、コートサイドにバッグを持ち込んで保管してください。なお、クーラーボックスのフロアへの持ち込みは禁止します。
5. 競技中のウェアの背面には、学校名・県名を表示してください。
6. 体力や息切れの回復、アドバイスを受けるため等の遅延に関する違反行為に対しては、厳正に対処します。特に、足が痙攣した場合は、怪我ではなく力不足とみなされます。選手は、すぐに構えてプレーを継続するか、棄権するか、どちらかにしてください。
7. 応援については、プレーの妨げや周囲の観客への迷惑などの理由により、うちわ、メガホンなどを使用すること、歌や長く手を叩くこと、観客席で立ち上がることは禁止します。
また、ゲーム中の応援は、インプレー終了からサーバーまたはレシーバーが次のプレーの構えをとるまでの間とし、マッチ前やインターバル中の応援は、10秒程度の長さで一度までとします。
8. 競技区域内では、携帯電話、パソコンなどの電子機器やカメラの使用を禁止します。

◆学校対抗の注意事項

1. 学校対抗の選手変更は、8時30分までに変更届を提出してください。
2. 初回戦（対戦校が決まっている2回戦を含む）のオーダー用紙は、9時00分までに提出してください。
3. 次回戦以降のオーダー交換は、対戦校が決定後、10分後に放送で案内します。
4. 学校対抗の試合が連続する場合の休憩は、20分とします。
5. 同一対抗で、同一選手の試合が連続する場合の休憩は、10分とします。
6. 試合は、基本的に3コート並行して行います。また、空きコートができた時点で次の試合のコールをします。その場合、1コートまたは2コート並行で試合を開始します。
7. 進行状況に応じて、試合の順番を変更する場合があります。
8. 試合中、競技フロアへ降りることができる生徒は、選手・マネージャーとしてエントリーされた者のみです。
9. 審判（主審・線審・得点係）は、別途割り当てます。なお、審判の人数が不足する場合は、対戦校の試合に出場しない生徒から補充してください。

◆個人対抗の注意事項

1. 試合前に予備コールを行います。呼ばれた選手は、選手集合所で受付を行ってください。その際、線審1名と一緒に来てください。(線審・得点係は対戦校同士で行います。)
2. 大会3日目及び4日目については、ダブルス・シングルスともに、トーナメント表の左側と右側とに分けて試合を行います。選手集合所も2か所に分かります。
3. 試合が連続する場合の休憩は、15分とします。(最終日は20分とします。)
4. 進行状況に応じて、試合の順番を変更する場合があります。
5. 敗者主審制とします。敗者は、審判用紙のかごを持って本部まで来てください。その後、当該コートの主審を行ってもらいます。
6. 各コートの1巡目の主審は、本部より割り当てます。
7. 試合中、競技フロアへ降りることができる生徒は、コーチングシートに入る者のみです。
8. 大会最終日に出場する学校は、単1名、複1組につき、それぞれ2名の生徒補助員を連れて来ててください。

会場使用上の注意事項

1. 試合会場で使用する運動靴は、競技用と屋外用を区別してください。
2. 飲食物、ゴミなどの後始末、貴重品の管理は、選手各自の責任で行ってください。特に、ゴミはすべて持ち帰るようにしてください。
3. 飲食については、観客席で行ってください。
4. 観客席の最前列は、応援席としますので、荷物を置かないようにしてください。
5. 手すりに寄りかかったの応援は、たいへん危険なのでやめてください。
6. 館内でのストロボを用いた写真や動画の撮影はしないでください。
7. 写真や動画の撮影は、個人利用を目的としたものに限りません。また、撮影した写真や動画を無断でSNS等へアップロードする行為は控えてください。
8. 撮影業者（カメラマン）を含め、競技フロアでの写真や動画の撮影を禁止します。
9. 大会関係者（大会役員・引率者・保護者・観戦者）の駐車場は、第2駐車場を使用してください。